

荒廃した里山林の下刈り、除伐・枯損木の伐採で生活環境及び自然景観を取り戻した事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：熊野町

取組のきっかけ・経緯

・里山林において、手入れ不足による荒廃化や枯損木の倒木により景観が悪化するとともに、有害鳥獣が生息していることから地域住民より改善の要望があった。

今後の展開

・手入れ不足により荒廃化した里山林があることから、地域全体で景観の維持及び森林の保全に取り組み、平行して市街地周辺における鳥獣被害防止のためバッファゾーン整備を進めていく。

取組の内容

- ・事業主体：熊野町
- ・実施場所：熊野町石神、呉地地区
- ・業務委託先：広島県森林組合連合会
- ・業務量：0.64ha
- ・業務金額：3,685千円
- ・業務期間：令和4年11月1日～令和5年3月15日

取組後の感想

【良かった点】

- ・下刈り、枯損木等の処理・伐採を実施したことにより地域住民から景観が良くなったと聞いた。
- ・また、鳥獣被害防止効果により、一帯での被害が抑制された。

【整備後】



【整備後】

